

平成21年度第1回山梨県後期高齢者医療懇話会議事録

日 時	平成21年7月16日(木) 午後1時30分
場 所	山梨県自治会館 2階 研修室3
出席者	被保険者を代表する委員 水上秀克(老人クラブ)・篠原泰雄(老人クラブ) 一ノ瀬久則(老人クラブ) 米山富子(老人クラブ) 加賀美千鶴子(老人クラブ) 医療関係団体を代表する委員 島田和哉(医師会)・花形哲夫(歯科医師会) 学識経験者その他の有識者を代表する委員 山本節彦(県福祉保健部)・戸田 知(社会福祉協議会) 医療保険者等を代表する委員 吉田幹哉(健康保険協会)・赤岩三郎(健康保険組合連合会) 矢崎幸雄(国保連合会) 広域連合 宮島広域連合長・嶋口事務局長・小川事務局次長・原業務課長 小池給付担当リーダー・神澤資格担当リーダー・二宮総務担当リーダー 堀内庶務担当サブリーダー・石川総務担当
欠席者	なし
傍聴人	なし
報道関係者	なし
懇話事項	1 「保険料について」事務局より説明 2 「制度見直しについて」事務局より説明 3 その他 その後、各委員より下記のとおり意見がでた。

記

- この制度により、費用負担が増え生活が大変だという声を聞く、滞納者の実態を把握し、対応に努めて欲しい。
- 費用負担について、公費が5割、現役世代が4割、高齢者が1割になっている。高齢者としても1割程度の負担はやむを得ないと考えるが、負担が低いに越したことはない。
- 医療現場では、制度改正に伴う経費や導入業務に非常に負担が掛かっている。
- 制度見直しについては、なるべく負担の掛からないように願いたい。